

再確認 **ごみ出しマナー**

・次の4品目はプラスチック収集物です。

食品、衣料品、日用品の袋 	弁当・総菜類の容器、トレイ類やラップ類 
豆腐・ヨーグルト・プリンなどの容器類 	シャンプー・リンスなどの容器類 

汚れは、水ですすぐか、軽くふき取ってから出してください。



プラマークの付いたものは、すべてプラスチック収集の対象です。迷ったときはプラスチック収集へ。

平成12年度は、札幌市の家庭から出されたプラスチックからドラム缶(200ℓ)で約1万本分の油が製造されました。

・ペットボトルのふたは外して、「プラスチック」または「燃えないごみ」に分別して出してください。注射器はごみステーションに出してはいけません。病院に返しましょう。



ごみは、収集日の当日、朝8時30分までに申し出ましょう。

【詳細 南清掃事務所 ☎583-8613】

不法投棄はやめましょう

不法投棄は犯罪行為です。絶対にやめましょう。田畑、空き地などの土地を所有する方は、適正に管理し、不法投棄されない環境づくりをお願いします。



【詳細 不法投棄対策担当課 ☎211-2927】



**地域のかで
リサイクルを推進**

北の沢小学校PTA
(藻岩地区)

市では、平成三年から、集団資源回収に取り組んでいる団体に対し奨励金を交付して、活動を支援しています。北の沢小学校PTAは、この支援制度が始まる前から自主的に資源回収を行っている団体で、回収量は区内のPTA団体の中で最も多くなっています(約八万三千kg、平成十三年実績)。



各戸に配布しているチラシ

会長の上田恵二さんはその理由を次のように語ります。「回収日が近づくと、各戸にチラシを配布し、その周知を」
また、PTAでは、毎年、図つていきます。実際に出すときは、チラシの下半分に書かれた「資源回収 北の沢小学校PTA」の部分を取り取つて添えてもらい、ポイ捨てごみに間違われたい、依頼した回収業者が集め忘れたいりしないよう工夫しています」

学校行事「ふれあいフェスタ」でバザーを開催。商品は地域の方々の寄付によるもので、家庭で不要になった衣類や日用雑貨などです。必要としている人に再利用してもらうことで、ごみ抑制にも貢献しています。子供たちの中には、読み終えた本や雑誌を寄付する子や買っていく子も。上田会長は、「こうした活動を通じて、子供たちがリサイクルに興味を持ち、物を大切にすることがはぐくまれば」と期待を寄せています。資源回収やバザーで得た収益は、地域の演奏会や卒業児童へのプレゼントに充てるなど、そのまま地域に還元。そのことでリサイクル活動への理解を一層深めてもらっているそうです。

ごみ問題はもう先送りできない段階にきています。これを解決する方法はただ一つ。あなた自身が今すぐ行動することです。一人ひとりの力は小さくても、みんなでの協力し合えば、きっと大きな力となるはず。次の世代に大きな負担を残さないために、あなたもごみ減量に取り組んでみませんか。



11日、北の沢小学校PTAバザー(11月同日、同小体育館)